

2024 年度（令和 6 年度）

事業報告

（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）

公益財団法人 留学生支援企業協力推進協会

I 事業の概要

企業の社員寮への留学生受入れは、経済同友会会員所属企業へ社員寮提供へのご協力依頼を継続的に実施するとともに、社員寮提供企業、留学生の所属大学との連携を密に、留学生の入替、受入れの確認・要請を効率的に行うことで入居稼働率を高めるよう努めたが、社員寮の閉鎖、留学生受入れ見合わせの傾向は続いている。その結果、2024年12月末時点での留学生入居人数は75名で、前年から9名の減となった。

社員寮入居留学生と日本社会との交流事業として企画した各種プログラムは、年間を通して概ね計画通り実施した。インターフェース支援プログラム、社会文化フォーラム、出張授業、卒業修了記念交流会などを開催し、参加した留学生にとって貴重な体験となった。出張授業は東京都内の中学校から継続的に講師派遣の依頼を受け、2校を対象に実施した。また、交流プログラムの一環として参加した企業主催のボランティア活動にはOBOGにも参加を呼びかけ、留学生同士の交流の機会となった。

留学生が安心して社員寮生活を送れるよう、法律相談の窓口を置くとともに、随時生活相談に応じた。

当協会への寄附金収入について、法人賛助会員数は新規で1社加入するも計画を4社下回り、寄附金額も予算をやや下回る結果となった。個人賛助会員数は対前年で6名下回ったが、留学生OBOGによる寄附金総額が前年を17万円上回る結果となった。

その他、定款に基づき、通常理事会（2回）、定時評議員会を開催したほか、臨時理事会、臨時評議員会を開催した。

日本橋一丁目東地区再開発に伴う事務所移転は無事に完了し、10月より日本工業倶楽部会館での業務を開始した。

II 公益目的事業（外国人留学生支援事業）

1. 留学生の社員寮への受入れ等の推進（定款第4条第1項第1号関係）

(1) 留学生支援企業を拡大し、社員寮への留学生受入れを促進するため、次の事業を実施した。

① 留学生受入れの維持・拡大のため企業への協力要請

経済同友会の正副代表幹事会・幹事会において、会員所属企業に対して留学生受入れなどの協力要請を実施した。また、経済同友会の新入会員オリエンテーションにおいて、事業案内パンフレットを配布し、協力要請を実施した。

② 受入れ企業・大学への留学生受入れの確認・要請を効率的に実施

受入れ企業・大学との連携を密に、留学生受入れの確認・要請を効率的に実施し、入居稼働率を高めるよう努めた。

その一方で、社員寮を閉鎖する、または新規受入れが見込めない企業が徐々に増加し、また、社員寮へ入居を希望する留学生の応募がない大学もあった。

その結果、2024年12月末時点の入居留学生人数は75名と、昨年の84名から9名減少した。受入れ企業数は前年度と同一の28社、受入れ枠数は2室減の110室となった。

《2024年12月末現在》		(対前年同月比)
受入れ企業数：	28社	(±0)
受入れ枠数：	110室	(▲2室)
入居者数：	75名	(▲9名)
延べ入居者数：	6,390名	(+37名)
所属大学数：	24校	(+1)
国・地域：	10カ国	(±0)

③ 企業担当者とのコミュニケーション

主要企業・社員寮への訪問、および Web 会議を開催し、留学生受入れ・継続・拡大に関する協力を要請した。

日時	場所	参加者
2024 年 12 月 4 日	中部電力株式会社	中部電力 2 名
2024 年 12 月 25 日	株式会社コア	コア 4 名

④ 大学担当者とのコミュニケーション

<大学担当者会議の開催>

社員寮入居留学生が在籍する大学の留学生担当者を対象に、大学担当者会議を Web 会議で開催した。2024 年度の事業活動概況を説明し、各大学担当者からは、留学生受入れ・支援の状況について報告がなされた。

実施時期	場所	参加大学・参加者数
2024 年 7 月 25 日	Web 会議	<u>11 大学 17 名</u> 青山学院大学 学習院大学 関西大学 慶應義塾大学 東京工業大学 名古屋大学 法政大学 明海大学 明治大学 横浜市立大学 早稲田大学
2024 年 7 月 26 日	Web 会議	<u>5 大学 7 名</u> 大阪公立大学 昭和女子大学 東京大学 明治学院大学 四日市大学
		合計 16 大学 24 名

<主要大学の訪問>

社員寮入居留学生が在籍する主要大学を訪問し、担当者と面談、意見交換を行った。

日時	場所	参加者
2024 年 4 月 8 日	Web 会議	四日市大学 1 名
2024 年 5 月 24 日	東京大学	東京大学 3 名
2024 年 12 月 4 日	名古屋大学	名古屋大学 2 名
2024 年 12 月 4 日	名古屋工業大学	名古屋工業大学 4 名他

(2) 社員寮入居留学生を対象としたセミナーを開催した。

① 社員寮生活セミナー (Web 会議)

社員寮入居留学生が充実した生活を送れるよう、入居間もない留学生を対象に社員寮生活におけるアドバイスを行う社員寮生活セミナーを行った。

5月7日3名、 5月8日2名、 7月6日2名、

12月9日2名、 12月12日3名、 2月4日4名 計16名

② 退寮セミナー (Web 会議)

退寮時のトラブルを防ぐため、各種手続きや注意事項を説明・指導する退寮セミナーを開催した。

2月4日1名、 2月5日10名、 2月13日1名 計12名

2. 社員寮入居留学生に対する生活相談の実施及び援助

(定款第4条第1項第2号関係)

(1) 相談窓口の設置

協会内に社員寮入居留学生の生活相談のための窓口を設置し、所属大学や受入れ企業などと連携し、職員が適宜対応した。

主要な相談件数：0件

(2) 法律相談への対応

社員寮入居留学生の法律に絡む相談に対応するため、契約弁護士による窓口を設置した。〔山崎法律事務所〕

相談件数：1件

① 交通事故後の対応に関する相談

3. 社員寮入居留学生と日本社会等との交流事業の実施及び援助

(定款第4条第1項第3号関係)

(1) インターフェース支援プログラムの実施

社員寮入居留学生に日本の企業や産業への理解を深めてもらうために、支援企業及び関係者の協力を得て、「就活セミナー」「企業実務見学」を実施した。

① 「就活セミナー」の実施 (Web 会議)

日本企業の採用活動に詳しいコンサルタントによる就活セミナーを開催した。参加留学生からは、「どのような人材を求めているか」「留学生の採用実績は」「日本語能力はどの程度必要か」「留学生はどのような仕事につけるか」など活発な質疑や意見交換が行われ、日本企業および採用活動を知る良い機会となった。

実施時期	参加企業	参加留学生数
2024年6月10日	株式会社マキシマイズ	3名

② 「企業実務見学」の実施

社員寮入居留学生に日本の企業や産業について理解を深めてもらうため、「企業実務見学」として、ロッテ浦和工場見学を実施した。最新の設備が整った工場内でお菓子の製造過程を見学した留学生からは、「衛生管理の徹底ぶりに驚いた」「製造過程はほぼ自動化されていて、作業員の方が少ないのが印象に残った」といったコメントが寄せられた。

実施時期	見学先	参加留学生数
2024年9月30日	ロッテ浦和工場	5名

(2) 社会文化フォーラムの実施

社員寮入居留学生に、日本の文化や歴史、社会・経済への理解を深めてもらうため「社会文化フォーラム」を実施した。

はじめて実施した日本銀行見学では、物価安定のための金融施策や、政府の銀行としての役割について説明を受けた後、地下金庫の見学を行った。地下金庫では新札の偽造防止技術の説明を受け、1億円相当のお札の重さを体験した。140年に及ぶ日本銀行の伝統や歴史的価値を感じる貴重な経験となった。

実施時期	名 称	実施場所	参加留学生数
2024年7月6日	歌舞伎鑑賞教室	ティアラ江東	11名
2024年11月14日	日本銀行見学	日本銀行本店	4名
	防災体験	本所防災館	
計2回			15名

(3) 出張授業の実施

社員寮入居留学生が都内の中学校や高等学校で教壇に立ち、異文化理解や国際交流の大切さを伝える「出張授業」を実施した。

実施時期	実施場所等	参加留学生
2024年11月6日	足立区立千寿青葉中学校（2年生）	4名
2024年11月26日	江戸川区立葛西第三中学校（1年生）	6名
計2校		10名

(4) 交流プログラム

① ボランティア活動への参加

SAP ジャパン(株)、認定 NPO 法人ハンズオン東京、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムと連携し、荒川河川敷の清掃活動「2024 ウォーターウェイ・クリーンアップ第2弾」に参加した。社員寮入居留学生と OBOG 合わせて9名が清掃活動を行い、環境への貢献活動を通じて社会的責任を考える機会となった。

② 卒業・修了記念交流会の実施

2025年3月および9月に卒業・修了する留学生を対象に卒業・修了記念交流会を

2月28日に開催した。留学生は名古屋や大阪からも参加し、社員寮での思い出や今後の進路、支援への感謝などが述べられた。ご参加くださった横尾理事長、遠藤監事からは、留学生に対して激励のメッセージをいただいた。

4. その他、協会の目的を達成するために必要な事業

(定款第4条第1項第4号関係)

(1) 社員寮入居留学生、OBOG等のデータ整備

社員寮入居留学生及びOBOG、関係大学並びに支援企業のデータ整備を行った。

(2) 広報活動

広報誌「Friendship Network」を作成し、関係者に配付並びに協会ホームページに掲載した。

発行回数：2回 発行部数：各300部

配布先：留学生受入れ企業、大学、法人／個人賛助会員、社員寮入居留学生

号名	主な記事	発行時期
163号	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所移転のお知らせ ・歌舞伎鑑賞教室 ・オンライン就活セミナー ・大学担当者会議 ・2024年度第1回通常理事会、臨時理事会、定時評議員会 ・社員寮生活セミナー 	9月
164号	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッテ浦和工場見学 ・日本銀行・本所防災館見学 ・荒川河川敷清掃活動ボランティア ・出張授業：足立区立千寿青葉中学校／江戸川区立葛西第三中学校 ・卒業・修了記念交流会 ・2024年度第2回通常理事会 ・社員寮生活セミナー／退寮セミナー 	5月

Ⅲ 法人管理

1. 理事会・評議員会の開催

定款に基づき、次のとおり開催した。

(1) 理事会

① 第1回通常理事会

日時： 2024年5月22日(水) 13:30~15:00

議題： 第1号議案 2023年度事業報告(案)について

第2号議案 2023年度決算(案)について

第3号議案 2024年度定時評議員会の招集及び議題(案)について

報告事項 代表理事、業務執行理事の職務執行状況
(2023年度下期)

2023年度社員寮入居留学生の進路状況

事務局の移転について

評議員の辞任について

② 第2回通常理事会

日時： 2025年3月13日(木) 15:00~16:30

議題： 第1号議案 2025年度事業計画(案)について

第2号議案 2025年度収支予算(案)について

第3号議案 2025年度資金調達および設備投資の見込み(案)
について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況
(2024年度上期)

社員寮生活・当協会事業についての評価アンケート
結果について

③ 第1回臨時理事会(書面決議)

日時： 2024年8月5日(月)

議題： 第1号議案 評議員の選任(案)について

第2号議案 定款の一部変更(案)について

④ 第2回臨時理事会（書面決議）

日時： 2024年9月10日（火）

議題： 第1号議案 2024年度補正収支予算について
第2号議案 事務所移転先と移転日について

（2）評議員会

① 定時評議員会

日時： 2024年6月13日（木）15:00～16:30

議題： 第1号議案 2023年度決算（案）について
報告事項 2023年度事業報告について
2024年度事業計画について
2024年度収支予算について
2024年度資金調達および設備投資の見込みについて
事務局の移転について
評議員の辞任について

② 臨時評議員会

日時： 2024年8月22日（木）

議題： 第1号議案 評議員の選任（案）について
第2号議案 定款の一部変更（案）について

以 上

附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

2025 年 5 月 21 日

公益財団法人 留学生支援企業協力推進協会